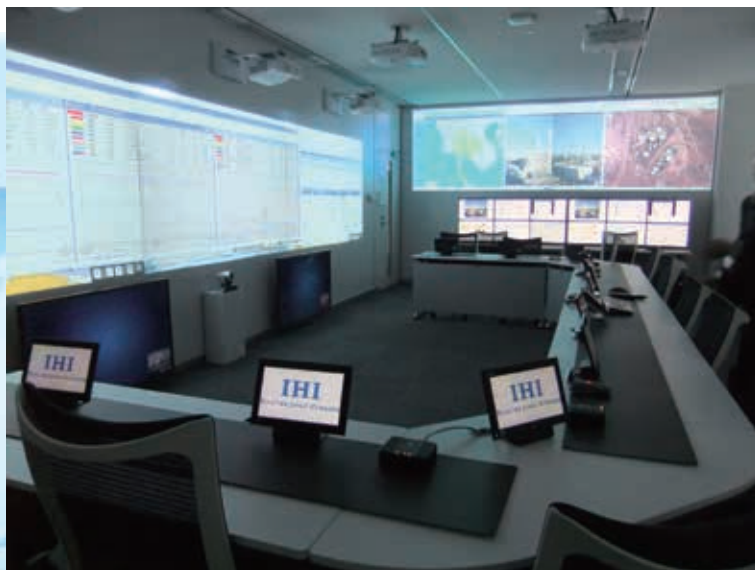


ガスタービン発電プラントを 年中無休で遠隔監視

「お客さま運用支援センター」が世界中の ガスタービンの安心・安全な運転を約束します

2013年12月1日、「お客さま運用支援センター」を開設した。ガスタービン発電設備のリモートモニタリングしたデータを即時かつ故障予兆解析することで、未然に発電停止を防ぎ、プラント信頼性および稼働率を最大限にする。



お客さま運用支援センター

ガスタービン発電設備の重要性

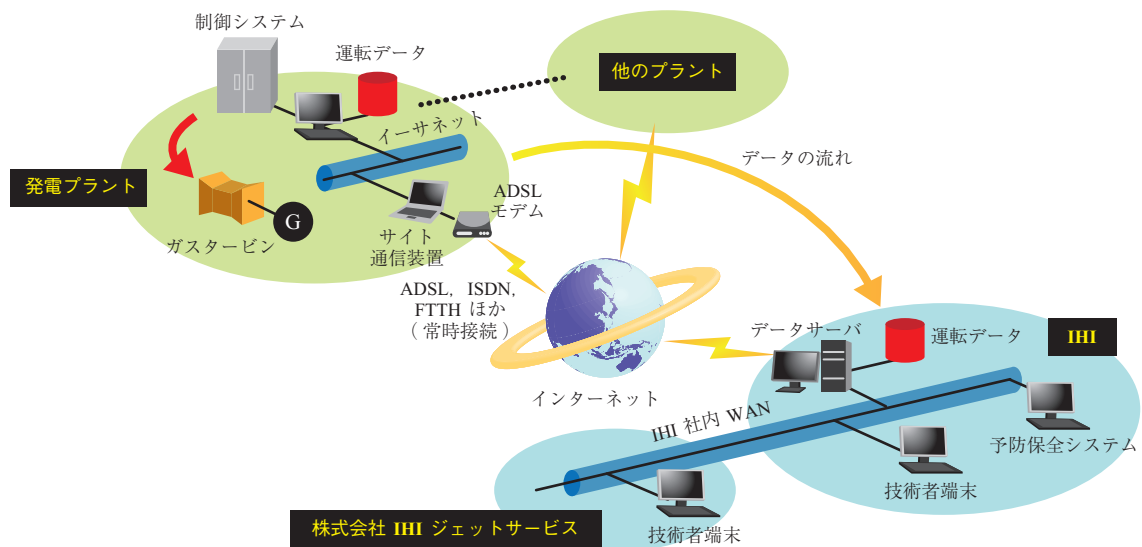
IHIの航空転用型ガスタービンは、高効率で高信頼性、容易にモジュール交換やエンジン交換メンテナンスができることによる、フレキシブルかつ高稼働率の運用を特長としている。ガスタービン発電設備は東日本大震災後のエネルギー計画の見直しにより、エネルギー供給源としての需要が今後ますます拡大する見通しである。

ガスタービン発電プラントは電気、あるいは電気に加えて蒸気を供給する。また、震災後は常用だけではなく、非常時のバックアップ用自家発電設備としても

注目が集まっている。いずれのタイプ・用途でもエネルギー供給のインフラ設備であり、その安定運用の重要度は一般的機械と比較してはるかに大きい。

IHIの「お客さま運用支援センター」を活用した運用支援サービス

お客さまにとって、最小限のコストで安定運用を実現することが重要である。このため、部品・機器の損傷確率の経年変化、損傷時のプラント運用への影響度と発生コストなどを考慮して、定期整備メニューをお客さまに提案している。一方、損傷は経年劣化以外のさまざまな原因によっても発生し得るため、定期整備



「あいモニタ」システム構成

と日々の運用支援サービスを組み合わせることで経済性と安定性の最適化を図っている。

IHI のガスタービン発電プラントは、24 時間 365 日「あいモニタ」および予防保全システムによって遠隔監視されている。IHI では、これらのデータおよび「お客さま運用支援センター」を活用し、お客さまの発電プラントの安定運用のため、各機器が必要な機能や性能を維持するよう、日常の運転監視を行い、故障時の迅速な対応と早期復旧、故障の未然防止などを支援している。

(1) 早期異常検知サービス

設備の運転状況を 24 時間監視し、蓄積した設備データを解析することで、故障の予兆を検出し、故障に至る前に対処することで、故障を未然に防ぐ。このサービスによって、故障する可能性を半減させる。

(2) 部品交換時期推奨サービス

お客さまの設備の運転状況を分析することで



短時間トラブルシュートサービス

個々の部品・機器の余寿命に即した交換のタイミングを推奨する。

(3) 短時間トラブルシュートサービス

重大なトラブルが発生した場合、サイト担当者では判断できない事案において、ガスタービン専門技術者が集まり、「あいモニタ」を使用して、迅速に正確な解析を行い、適切な助言・対応によって最短でトラブルを解決する。

(4) リモートメンテナンスサービス

機械設備は経年変化により多かれ少なかれ調整が必要となる。特に回転機械である原動機およびその周辺の補機類は、制御パラメータの調整が必要となることもある。当センターから遠隔で制御パラメータ調整を行うリモートメンテナンスサービスにより、現地へのエンジニア派遣を待つことなく、設備を調整する。

世界中で活躍する IHI のガスタービンが休まず働き続けることができるように、今後も「お客さま運用支援センター」をとおして安心をお届けしてゆく。

問い合わせ先

株式会社 IHI

エネルギー・プラントセクター

原動機 PJ 統括部

電話 (03) 6204 - 7707

URL : www.ihico.jp/powersystems/